

作手地域自治区予算事業候補検討結果

継続事業

番号	事業名	内 容	R4 予算額 (暫定額)		グループ	継続の可否	意見等
1	若者定住奨励金交付事業 (H28より継続実施)	定住促進を図るため、作手地域自治区の区域内に転入、転居した者、及び出産した者で、住所を定めてから3年度が経過した45歳以下の者を対象に奨励金(いじゅん券19,000円/1人)を交付する。	817	千円	1班～4班	可	3班：検討の余地あり。例えば空き家を紹介してくれた人に奨励金を出すなど、空き家対策に繋がるものにできればよい。
2	観光施設等整備事業 (H30より継続実施)	城跡を巡る散策コース「歴史の小径」の老朽化した木製案内看板を更新する。 看板 24基更新済/全53基	380	千円	1班～4班	可	
3	つくでっ子元気事業 (H26より継続実施)	小中学生の学習意欲の向上及び地域の人たちとの交流を図るため、スポーツ・文化・芸術の講演会、講習会、観賞会等を行う。	720	千円	1班～4班	可	
4	保育所英語講師派遣事業 (H28より継続実施)	魅力ある作手地域の教育を目指すため、作手こども園の園児(3歳児から5歳児まで)を対象に、英語の手遊び、歌、絵本の読み聞かせ等、英語に親しむ機会づくりを行う。	285	千円	1班～4班	可	2班：英語教育は必要で、こども園・小学校と充実すべきである。
5	小学校英語教育推進事業 (H29より継続実施)	魅力ある作手地域の教育を目指すため、作手小学校1,2年生を対象に、英語の手遊び、歌、絵本の読み聞かせ等、英語に親しむ機会づくりを行う。また、3、4年生の英語活動、5、6年生の英語授業を支援するため、アドバイザーを派遣する。	974	千円	1班～4班	可	
6	中学校教材等整備事業 (R3より継続実施3年計画)	老朽化した和太鼓の修繕を行い、地域とつながる学びとして実施されている総合学習(和太鼓)の充実を図る。 【R4予定】 桶太鼓3面張替、大太鼓台座更新1台、小太鼓台座更新5台	182	千円	1班～4班	可	
7	地域安全灯設置補助金事業 (H29より継続実施)	地域安全灯の設置(LED化)に係る既存補助事業の上乗せ補助を行い、行政区負担分の軽減を図る。また、地域安全灯の設置を推進し、地域住民の安全安心を図る。 【R4予定】6行政区41灯	507	千円	1班～4班	可	
8	防災活動補助事業 (H30より継続実施)	住民による自発的かつ積極的な防災組織活動の展開を促すため、防災機材等に係る既存補助金の上乗せ補助を行い、行政区負担の軽減と、地域住民の安全安心を図る。 【R4予定】5行政区 格納箱更新他	218	千円	1班～4班	可	3班：補助で機材などの整備だけでなく、防災意識が高まるような勉強会やイベントなども考えていく必要がある。
合 計			4,083	千円			

新規事業

事業名(仮)	内 容 等	概算額	グループ	優先順位	意見等
観光マップ作成事業	作手地域の観光マップ作成 作手地域を紹介する観光マップが古く更新されていないものしかない。新たに作成することで、作手地域のPRに活用し、交流人口増加に繋げる。	250 ～ 550 千円	1班	要検討	ペーパーレスで、若者を対象とした独自の観光マップをホームページ上で作ってはどうか。マップをどう使うかなど検討が先に必要。
			2班	3	お店が掲載できるとよい。
			3班	要検討	すぐに予算化して作成しなくてもよい。今市にはたくさんマップがあるので、それをどう活用されているのか、どのようなマップが必要があるかアイデアをしっかりと練ってからでも良いと思う。
			4班	要検討	自然を掲載するには、ミツマタ群生地など私有地でトラブルも起きていて載せられない箇所もある。また、お店を載せるのが難しいならアピールする場所が少ない。新しくするメリットがないので、お店を掲載できるよう商工会などしっかりと連携・調整した上で、予算化するべき。コロナの状況もあって、マップを作るタイミングは今じゃない。
バスケットゴール改修事業	旧開成小学校体育館バスケットゴールの改修 バスケットコートは2面あるが全て小学生用のゴールの高さとなっている。子供から大人まで一緒に楽しめるよう、1面を高さ調節のできるゴールに改修し、スポーツ施設の充実及び利用促進を図る。	2,000 千円	1班	2	改修に伴い体育館の価値は上がるので、利用率を高めることも考えていく必要がある。
			2班	2	地域住民に還元する視点では必要。
			3班	3	バスケットゴールを改修するなら、体育館の利用率を上げ、利益に繋がるように誘致活動などの仕組みづくりが必要。
			4班	2	現在、作手地域以外からの利用もある。作手地域は夏は過ごしやすく避暑地となるので、スポーツ施設として跡地利用を考えていく。
小学校防球ネット設置事業	作手小学校グラウンドに防球ネット設置 作手小学校グラウンドにはフェンス等がないため、野球等のボールが隣接する市道へ出てしまい、追いかけた小学生が道路へ飛び出し危険な状況がみられる。グラウンドの一部に防球ネットを設置し、子供の安全の確保及び適正な施設管理を図る。	2,800 千円	1班	1	本来、当該課予算で対応していただきたいが、当該課の状況次第では計上していく必要がある。
			2班	1	危険度を考えると緊急性が高い。当該課予算でやるべきとの声もありましたが、地域自治区予算も市のお金なので、早く対策することが大切である。
			3班	1	
			4班	1	子どもの安全確保は急務なので、必要性は高い。市の本体予算でやってもらいたい。
亀山城址整備事業	亀山城址の本丸までの遊歩道整備を継続し、観光客の安全を確保するとともに、誘客を図る。	3,100 千円	1班	3	カラー舗装をする必要性や緊急性はないのでは。もっと安価におこなうべき。
			2班	4	3年間の事業は終了していて、緊急性のある部分は終わっている。慌てず整備が出来れば良いと思う。
			3班	2	雨が降ると、砂利が流れてきているので、道路までしっかり整備した方がよい。部分的整備では、中途半端感がいなめない。
			4班	違う方法で検討	現状で登れない人には、その奥の整備された遊歩道も登れないと思う。誘客を図る方法として、道の駅手作り村の入口付近に亀山城址を案内する看板を設置するなど、違う方法で検討をしてはどうか。また、誘客は亀山城址のポイントだけを見るのではなく、作手にあるポイントを回る「歴史の小径」の周知を図っていくことが必要。歴史の小径のパンフレット増刷も必要ではないか。